

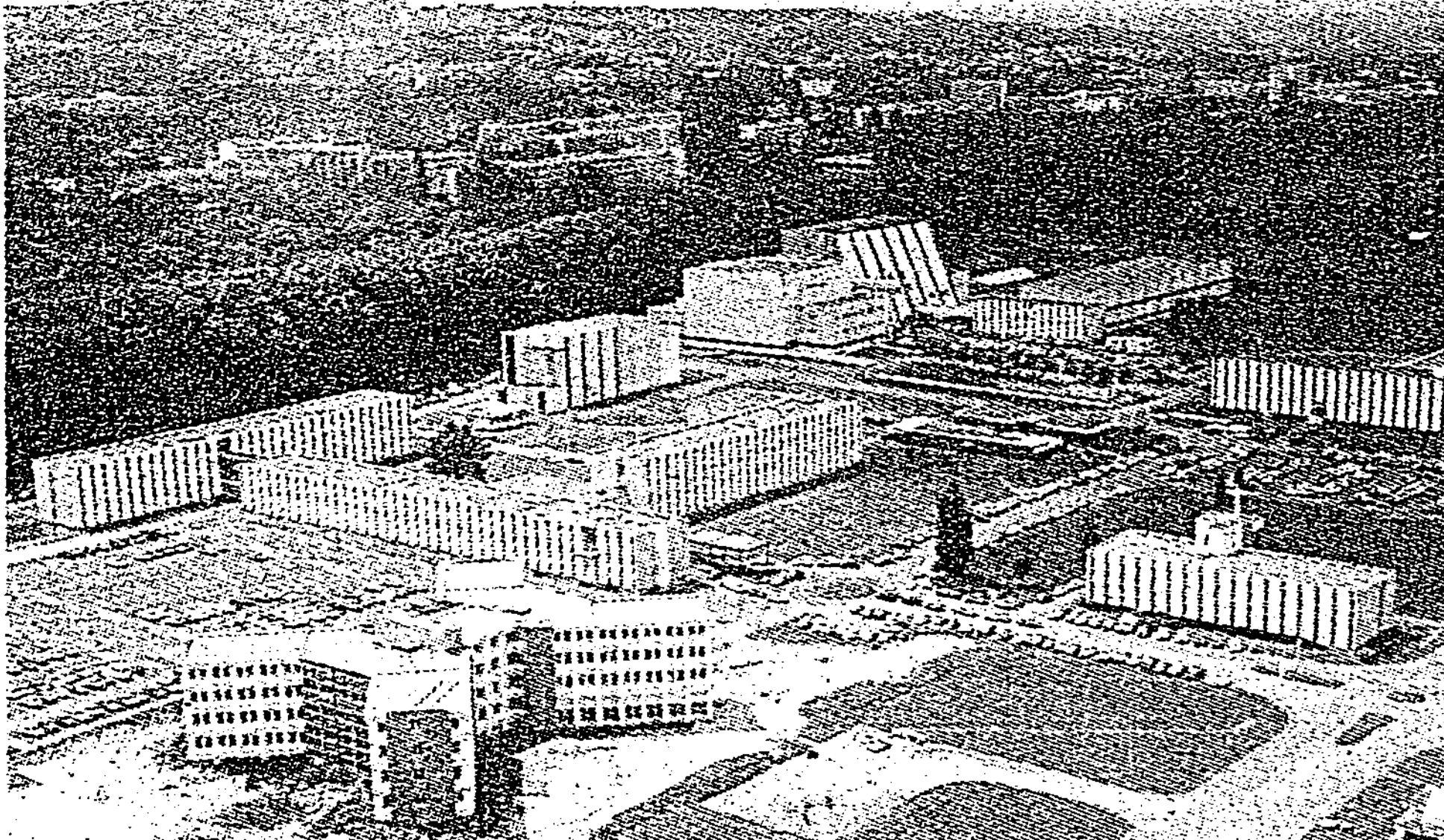


発行所 十勝毎日新聞社 千080 帯広市東1条南8丁目 電話-編集 2121、広告 2323、総務・販売 2222 ©十勝毎日新聞社 1987

欧州の 宇宙開発

> 4 <

「我々は常に、空を見上り、飛行機で一時の余り、ミサイルを飛ばして来た。そして、ヒネー地方の首都であり、県庁所在地でもあるランズに、さきを上を見て伸びてきた」と思う。フランスの主要都市、もともと盛んな都市、ツールズ市に入ると、唯一の産業としてマチだてて、説明会場に設定された商業高等大学を視察団を迎えた現地の商工会議所副会へ、と大々の歓迎を受けた。今年十月、世界五百社が出展した先端産業展「STIFF」を締めくくった。空では、むろん航空宇宙産業を意味する。その実情を見に訪れた我々に対する最大級のアピールが、この結ぶだ。



テクノポリス形成に大きな役割を果たしたツールズ宇宙センター

「ツールズ宇宙センター」が置かれて、九六八年開設。この地域への波及効果を高めるのが今回の目的。宇宙センター立地が、テクノポリス形成にどんな役割を果たしてきたのか。研究施設を打ち上げ基地の基を築き、航空宇宙分野で産業立国を目指す十勝にとつては、大いに参考になる。

大学講堂では、アッシュ副会長に代わり、ツールズ地方整備局の研究担当員、リュン氏が登壇しテクノポリスの概要を説明。その中で、同氏が成功の背景に挙げたのが、六〇年代前半に行われた国の分権政策だった。

「パリとそれ以外の地方大都市のアンバランスを解消する」として、ツールズ市と周辺の自治体は、航空宇宙分野の育成を要望。結果的にCNESは航空宇宙大学、エアバスが航空宇宙センターを建設。将来を担う若手経営者にテ

クノポリス内の用地を提供。二年間、マーケティング活動のノウハウや人材の提供を行った。対象は中小企業。これまでに計百四十社が同委員会を通じて、同ポリスに張り付いて産業活動を行っている。

産業立地地帯が周辺一帯に張り付いているのだ。中核を成す航空宇宙産業、CNESの宇宙センター一帯は、事前の視察申し入れ拒否で、素通りとなったが、周辺の関係も集積、これらの相乗効果で、出来上がったのが現在のテクノポリスなのだ。

ツールズ市を含む六市町村は、資金を出し合い、企業インキュベーター(ふ化)機関としての中小企業誘致委員会も組織した。地方分権策に並行して各種大学、研究所施設も集積、これらの相乗効果で、出来上がったのが現在のテクノポリスなのだ。

宇宙センター 大きな吸引力

中小企業誘致委員会 ツールズ市と周辺の自治体は、航空宇宙分野の育成を要望。結果的にCNESは航空宇宙大学、エアバスが航空宇宙センターを建設。将来を担う若手経営者にテ

「目見張る企業群」 ツールズ市と周辺の自治体は、航空宇宙分野の育成を要望。結果的にCNESは航空宇宙大学、エアバスが航空宇宙センターを建設。将来を担う若手経営者にテ

「目見張る企業群」 ツールズ市と周辺の自治体は、航空宇宙分野の育成を要望。結果的にCNESは航空宇宙大学、エアバスが航空宇宙センターを建設。将来を担う若手経営者にテ

「目見張る企業群」 ツールズ市と周辺の自治体は、航空宇宙分野の育成を要望。結果的にCNESは航空宇宙大学、エアバスが航空宇宙センターを建設。将来を担う若手経営者にテ

波及効果

「もとは農業地帯」 ツールズ市はパリから飛行機で四時間の主権都市。開港が第四回の主権都市。開港が第四回の主権都市。開港が第四回の主権都市。

850の企業が進出 ツールズ

「主要施設として、技術開発や応じるメーカー、研究所、学術機関などを行う」 ツールズ市はパリから飛行機で四時間の主権都市。開港が第四回の主権都市。開港が第四回の主権都市。

「年間キャンペーン」 目指せ宇宙基地」第6部 ツールズ市はパリから飛行機で四時間の主権都市。開港が第四回の主権都市。開港が第四回の主権都市。